

令和5年度 茨城支部保険者機能強化予算の執行状況について

1. 令和5年度 茨城支部医療費適正化等予算について

分野	区分	取組名	予算額	執行額	執行率	実施状況および経費の調整等
医療費適正化予算	企画部門	ジェネリック医薬品使用割合等の薬局向け情報提供サービスの外部委託	530,200	272,800	51.5%	<ul style="list-style-type: none"> 医療機関・薬局にジェネリック医薬品使用割合を把握してもらい、後発医薬品使用促進を図ることを目的に、医療機関・薬局ごとの後発医薬品使用割合等を記載した個別の通知（見える化ツール）を各医療機関・薬局に作成し送付。 県内の医療機関700件、保険薬局1,232件に送付。
		お薬手帳カバーを活用したジェネリック医薬品の使用促進	1,991,000	955,240	48.0%	<ul style="list-style-type: none"> 茨城県薬剤師会と連名で「ジェネリック医薬品を希望します」と明示したお薬手帳カバーを13,000部作成し、使用割合が低迷している水戸医療圏、筑西・下妻医療圏の薬局に協力依頼を行い、111薬局に配布。
	業務部門	-	-	-	-	-
	合計			2,522,000	1,228,040	48.7%

1. 令和5年度 茨城支部医療費適正化等予算について

分野	区分	取組名	予算額	執行額	執行率	実施状況および経費の調整等	
広報・意見発信	紙媒体による広報	納入告知書同封チラシ作成	1,524,600	1,370,549	89.9%	● 全事業所へ協会けんぽの取組内容の広報や制度周知を行った。(毎月)	
		算定基礎事務説明会資料作成	110,000	104,500	95.0%	● 算定基礎届事務説明会で参加事業所に協会けんぽや健康保険制度の周知を図った。	
		合計	1,635,000	1,475,049	90.2%		
	その他の広報	適正受診リーフレット配布	1,540,000	1,496,000	97.1%	● 医療機関等への適正受診を促進するためのイラスト動画CM(30秒)を制作し、その動画をYouTube展開し、新聞広告も掲載し、正しい医療のかかり方に関する啓発を行った。	
		乳児世帯向け上手な医療のかかり方リーフレット配布	2,343,000	1,741,309	74.3%	● 茨城支部の被保険者で新生児が生まれた方に対し、乳幼児の育児と医療情報に関する専門冊子を送付。(毎月)	
		各種メディアを活用した広報	1,804,000	779,800	43.2%	● 保険料率等広報の実施(茨城新聞、商工会議所会報、茨城県広報誌「ひばり」、「中小企業いばらき」、「茨城商工だより」、「茨城経協」)	
		ジェネリック医薬品の使用促進に向けた広報展開	4,921,400	3,546,400	72.1%	● ジェネリック医薬品使用促進のYouTube動画を活用したYouTube・AbemaTV広告、アイセイ薬局調剤店内サイネージを活用した広報展開を行った。(8月、2月) ● つくばエクスプレス窓上ポスター、茨城交通バス車内広告ポスター(県、健保連との連名)	
		合計	10,609,000	7,563,509	71.3%		
	総計			14,766,000	10,266,598	69.5%	

2. 令和5年度 茨城支部保健事業予算（健診）

分野	区分	取組名	予算額	執行額	執行率	実施状況および経費の調整等
健診経費	集団健診	県内全市町村にて未受診者（受診漏れ者）健診の実施	4,400,000	1,789,352	40.7%	● 県内3機関と勸奨業務に係る委託契約を締結（健診は集合契約で実施）し、9月～3月にかけて、全44市町村のうち39市町村延べ34,304人に受診勸奨通知を送付
		協会独自の集団健診実施	3,888,500	1,532,905	39.4%	● 40歳以上75歳未満の特定健診未受診の被扶養者23,417名に受診案内を送付し1,188名が受診、そのうち特定保健指導の対象となった者に対し初回面談を35件実施。
	事業者健診取得結果	健診受診勸奨業務及び事業者健診結果データ取得勸奨業務	8,580,000	1,496,511	17.4%	● 前年度の生活習慣病予防健診実施率が低く、事業者健診の提供がない5,000事業所に対し、外部委託事業者から文書・電話で受診勸奨・事業者健診結果の提供の勸奨を予定していた。 ● 本事業を委託した事業者が年度途中で倒産したことにより、事業者健診結果のデータ化等の一部業務が滞ってしまったため、令和6年度の委託事業者にて、同データ化業務等を引き継ぐ。
	進健診経費推	健診推進経費	9,146,000	7,465,315	81.6%	● 生活習慣病予防健診の受診者数、事業者健診データ取得数が目標値を超えた場合の健診機関への報奨金として、それぞれ69機関5,744件、24機関2,979件を対象に支払。
	健診受診勸奨等経費	生活習慣病予防健診機による受診勸奨	116,000	0	0%	● 生活習慣病予防健診9機関との間に、受診勸奨に係る業務委託契約（無償）を締結。ITCを活用した説明会を実施したため予算執行なし
		健診・保健指導の受診率向上に向けた漫画リーフレット	3,740,000	1,716,704	45.9%	● 令和6年度生活習慣病予防健診及び特定健康診査の健診内容等を掲載した親しみやすい漫画リーフレットを作成。令和6年度における年次案内及びアウトソースを通じたご案内として活用し、健診受診率の向上を図った。
		次年度特定健診デビュー年齢対象者への受診勸奨	495,000	0	0%	● 39歳被扶養者に対する特定健診の情報提供事業について、コロナ禍の受診控えといった状況を考慮し、実施を見合わせ、年次案内による特定健診のご案内のみとしたため、予算執行なし。
		被扶養者の健診結果データ取得	96,000	0	0%	● 生活習慣病予防健診実施機関を対象とした説明会において、人間ドックをご利用になった扶養者に係る健診結果データの提供依頼を実施した。ICTを活用した説明会のため、予算の執行なし。
		生活習慣病予防健診予約状況照会サービス	264,000	264,000	100%	● 支部HPからリンクする形で、各健診機関の予約の空き状況が確認できる「生活習慣病予防健診予約状況照会サービス」を実施。当初見込んだアクセス数を大幅に上回り利便性向上に寄与した。
		生活習慣病予防健診再勸奨の実施	1,029,600	0	0%	● 既存の勸奨資材を活用したことにより、予算執行なし。
		「健診受け方ガイド」（特定健診実施機関一覧）作成	517,000	0	0%	● 特定健診受診券の年次発送に合わせて作成したパンフレットに同ガイドの要素を溶け込ませることとしたため、予算執行なし。
		ラッピングバス広告	1,619,600	1,633,900	100.9%	● 生活習慣病予防健診受診勸奨とジェネリック医薬品使用促進のラッピングバス広告を実施（継続事業）。ラッピングフィルムが耐久年数3年を超えたため新デザインに貼替え、訴求力向上を図った。
		ラジオ・新聞広告	4,325,970	6,688,077	154.6%	● 健診、保健指導、インセンティブ制度等を内容に茨城放送でラジオCM、生出演等を実施。 ● 健診受診勸奨や健康経営等について、新聞各紙やタブロイド紙で広告を掲出。 【健診受診勸奨等経費内で調整】
	合計	38,219,000	22,586,764	59.1%		

2. 令和5年度 茨城支部保健事業予算（保健指導・重症化予防）

分野	区分	取組名	予算額	執行額	執行率	実施状況および経費の調整等
保健指導経費		中間評価時の血液検査費等の保健指導事務経費	2,063,000	1,442,100	69.9%	<ul style="list-style-type: none"> ● 中間評価時の血液検査費 ● 保健指導用事務用品費 ● 保健指導用データ送料等
		保健指導推進経費	627,000	126,720	20.2%	<ul style="list-style-type: none"> ● 特定保健指導終了者が前年度実績を超えた場合等に報奨金を支払うもので、令和5年度は3機関に対し執行。
		職員の事業所訪問による健診受診等勧奨	88,000	654,500	743.8%	<ul style="list-style-type: none"> ● 健診の受診勧奨等が必要な事業所を選定の上、職員が直接訪問し、生活習慣病予防健診・特定保健指導・健康宣言など総合的な案内を行った他、講演会等を通じた受診勧奨を実施した。
		共同利用周知チラシの作成	770,550	393,525	51.1%	<ul style="list-style-type: none"> ● 保健指導にあたり事業所にお知らせする個人情報の利用に関する理解促進のため、「共同利用周知チラシ（健診受診者用）」を作成し、生活習慣病予防健診実施機関へ配布。
		合計	3,549,000	2,616,845	73.8%	

分野	区分	取組名	予算額	執行額	執行率	実施状況および経費の調整等
重症化予防事業経費		未治療者受診勧奨	7,854,000	5,304,158	67.5%	<ul style="list-style-type: none"> ● 本部で実施する一次勧奨後、受診予定が確認できない者に対し、毎月外部委託により二次勧奨文書を送付。特に重症域にある者には電話勧奨も実施。 ● 実施件数：文書13,327件 電話勧奨1,825件
		重症化予防対策	2,992,000	417,500	14.0%	<ul style="list-style-type: none"> ● 茨城県糖尿病性腎症重症化予防プログラムに沿って、同プログラムの基準に該当する対象者（2名）へ保健指導を実施した。
		合計	10,846,000	5,721,658	52.8%	

2. 令和5年度 茨城支部保健事業予算（コラボヘルス）

分野	区分	取組名	予算額	執行額	執行率	実施状況および経費の調整等
コラボヘルス事業経費	コラボヘルス事業	健康測定器貸出	4,840,000	1,912,086	39.5%	● 健康づくり推進事業所の特典として、健康測定機器（血管年齢計、骨健康度測定器、ストレス測定器、花年齢測定器）を無料貸出（実施回数：87回）
		健康経営推進のための講師派遣	2,193,125	674,850	30.8%	● 健康づくり推進事業所の特典として、専門家による「出前健康づくり講座」を実施 ① 「健康セミナー」 11回 ② 「お口の健康教室」4回 ③ 「お薬と健康教室」1回 ④ 「メンタルヘルスケア研修」 10回
		健康経営推進のための広報	1,249,600	770,000	61.6%	● 健康経営リーフレット改訂版を10,000部作成 ● 茨城新聞「いばらき健康経営推進特集」、「いばらき美味しおDay特集」への広告掲載
		ワークショップによる健康経営実践事業所のスキルアップ研修	734,800	0	0%	● 新型コロナ感染症の影響を踏まえ、未実施。
		健康経営セミナー	302,500	0	0%	● 茨城県健康推進課（業務委託先：株式会社 常陽産業研究所）と一般社団法人 茨城県建設業協会との共催により、健康経営オンラインセミナーを開催し、「健康づくり推進事業所認定制度」について説明を行った。協会けんぽの費用負担がなかったため予算執行なし。
	ツール情報提供	事業所健康度診断カルテの送付	1,511,000	496,430	32.9%	● 健康リスク改善、健康づくり推進を図るため、健康づくり推進事業所の認定事業所等に対して、自事業所の健康度を把握できる事業所カルテを送付。（1,586社）
	合計		10,832,000	3,853,366	35.6%	

2. 令和5年度 茨城支部保健事業予算（その他）

分野	区分	取組名	予算額	執行額	執行率	実施状況および経費の調整等
その他の経費	その他の保健事業	健康イベントへの参加	297,000	264,982	89.2%	● 水戸市共催のセミナー（原則水戸市在住・在勤者、定員200名）を開催した。基調講演を行った講師が総合診療を専門にしている医師であることから、生活習慣病の予防と同時に、水戸市との連携・協力事項の1つでもある特定健診及びがん検診の受診を促した。
		スマホ用健康アプリを活用した健康づくり事業の推進	110,000	0	0%	● 県のウォーキングアプリ利用促進のリーフレットについて、在庫分に対応できたため、増刷を行わず、予算執行なし。
		動画による保健事業広報	2,090,000	2,027,168	97.0%	● 生活習慣病予防健診、特定保健指導の周知・理解度向上のため、協会けんぽのPR動画に誘導するYouTube広告・Instagram広告を展開。
	合計		2,497,000	2,292,150	91.8%	
	保健事業計画アドバイザー経費		-	-	-	
総計			65,943,000	37,070,783	56.2%	